

Talk session 事前申込が必要です。

記念トークセッション

大分から世界へ 社会的役割を担う 美術館を目指して

時間 / 11:10 ~ 12:00 場所 / 1階アトリウム

出演者

坂 茂 (建築家・大分県立美術館設計者)

小野 正嗣 (芥川賞作家・早稲田大学教授・NHK日曜美術館キャスター)

井上 洋一 (大分県立美術館特別顧問・東京国立博物館副館長)

コーディネーター

山出 淳也 (NPO法人 BEPPU PROJECT代表理事・大分県芸術文化スポーツ振興財団理事)

Profile

建築家・大分県立美術館設計者

坂 茂 Ban Shigeru

1957年東京生まれ。84年クーパー・ユニオン建築学部を卒業。職制新アトリエ勤務を経て85年坂茂建築設計を設立。95年災害支援活動団体ボランティア・アーキテクツ・ネットワーク(VAN)設立。主な作品に「ボンビード・センター・メス」「紙の教会」「オメガ・スワッチ本社」など。フランス建築アカデミー「ゴールドメダル(2004)」。アール・W・ブルーナー記念賞建築部門世界建築賞(2005)。芸術選奨文化科学大臣賞(2012)。フランス芸術文化勲章コマンドゥール、ブリツカー建築賞(2014)。JIA日本建築大賞「大分県立美術館」(2015)。紫綬褒章、マザー・テレサ社会正義賞(2017)など多数受賞。現在、慶応義塾大学環境情報学部教授、京都芸術大学教授、東北大学災害科学国際研究所特任教授を務める。



大分県立美術館特別顧問 東京国立博物館副館長

井上 洋一 Inoue Yoichi

1956年、神奈川県生まれ。1985年、東京国立博物館研究員として任官。学芸部考古課先史室長、企画部事業課企画展示室長、事業部教育普及課長、事業部事業企画課長、学芸企画部企画課長。2014年～2015年、九州国立博物館学芸部長。2015年～2017年、東京国立博物館学芸企画部長。2017年～、東京国立博物館副館長。2019年6月23日、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団理事に選任、同日付で大分県立美術館特別顧問就任。日本学術会議連携会員、國學院大学大学院非常勤講師、成城大学非常勤講師 専門分野 日本考古学



芥川賞作家・早稲田大学教授 NHK日曜美術館キャスター

小野 正嗣 Ono Masatsugu

1970年、大分県生まれ。作家。早稲田大学文学学術院教授。2018年よりNHK「日曜美術館」キャスター。著書に、『にぎやかな湾に背負われた船』(第15回三島由紀夫賞)、『九年前の祈り』(第152回芥川賞)、『ヨロコビ・ムカエル?』『踏み跡にたずんで』など。訳書に、『マリー・アントワネット』『三人の美しい女』、『アキール・シャルマ』『ファミリー・ライフ』、『アミン・マールーフ』『アイデンティティが人を殺す』など。第33回国民文化祭、おおいだ2018、第18回障害者芸術・文化祭おおいだ大会実行委員。オープニングステージの脚本を執筆。



NPO法人 BEPPU PROJECT代表理事 大分県芸術文化スポーツ振興財団理事

山出 淳也 Yamaide Jun'ya

1970年生まれ。NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事/アーティスト。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002~04)。アーティストとして国際的に活躍した後、2004年に帰国。2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー(2009~)。第33回国民文化祭・おおいだ2018 市町村事業 アドバイザー。文化庁 審議会 文化政策部会 委員(第14期~16期) グッドデザイン賞 審査委員(2019年~) 山口ゆめ回廊博覧会コンタクター(2019年~) 平成20年度 芸術選奨文化科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)



大分県立美術館 5周年の歩み

大分県立美術館(OPAM)は皆さまに支えられ、2020年4月に開館5周年を迎えました。開館から現在までに行われた展覧会やイベント等を振り返ります。

START

2014(平成26)年度

・竣工記念「OPAM誕生祭」(H26.11.23) 記念式典、記念展示、館内一般公開等

2015(平成27)年度

大分県立美術館(OPAM)開館



開館前日に記念式典とレセプションを開催し、多くのゲストから祝福を受けました。開館当日はオープニングセレモニーに続き、記念お茶会や国際シンポジウムを開催。30日にはNHK「日曜美術館」とコラボレートしたトークショーも行われました。

開館記念展vol.1

モダン百花繚乱「大分世界美術館」 一大分が世界に出会う、世界が大分に驚く「傑作名品200選」



記念すべき開館第1弾の展覧会は、「出会いのミュージアム」にふさわしく、古今東西の名作・名品と大分の文化を象徴する作品の「出会い」をテーマに、国内外の美術館や個人コレクションから厳選された約200点を集めた「モダン百花繚乱「大分世界美術館」」を開催しました。

・県内の全小学生招待

(小学生ファーストミュージアム体験事業) 開館記念事業として、県内の全小学生約6万人の見学を受け入れました。

・進撃の巨人展 WALL OITA

「描(か)く!」マンガ展 ~名作を生む画技に迫る一描線・コマ・キャラ~

・天皇・皇后両陛下(当時)ご来館(H27.10.13)

「太陽の国」創立50周年記念式典御臨席と地方事情ご視察のためご来県。美術館ではコレクション展を鑑賞されました。

・開館記念展vol.2「神々の黄昏」

一東西のヴィーナス出会う世紀末、心の風景、西東日本の精神文化の源泉ともいえる宇佐・国東地域の仏教美術とクリムト(オーストリア)の「聖なるもの」へのまなざしを軸に古今東西の異文化の出会いを演出しました。

・身も心も!現代アートに恋い焦がれて

一岡岡コレクション+大分アジア彫刻展

2016(平成28)年度

OPAM×勢伊勢雄 シアター・イン・ミュージアム 未完の表現の系譜とは何か? ライブ、写真、映像、前衛芸術の出会い

コレクションに見る日展に集う作家たち

生への言祝ぎ 一インスタレーション、十二の柱+出会いのパフォーマンス

▶ 国宝、日本の美をめぐる 東京国立博物館名品展



10/6(土)から11/25(日)まで開かれた「第33回国民文化祭・おおいだ2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会」。期間中、美術館では、東京国立博物館所蔵の国宝から最新の科学技術まで幅広いテーマの展覧会を開催。多くの来場者が訪れました。

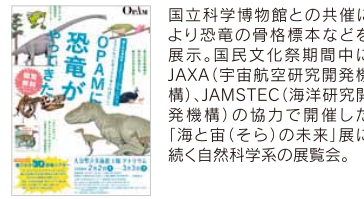
・皇太子妃両陛下(当時)ご来館(H30.10.6)

「第33回国民文化祭・おおいだ2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会」開会式に合わせて来県の高齢者がご来館。「おおいだ美術散歩」等を観覧されました。

・教育委員会連携 特別企画 高校生特別観覧

教育委員会と連携し、「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」特別企画の特別観覧(高校生特別観覧、学校団体観覧)を受け入れ、学校ごとにガイドの説明付で各展覧会を見学。110校13,333名の利用がありました。

・来館者200万人達成(H30.10.14)



▶ 国立科学博物館・コラボミュージアムin大分

「とりになったきょうりゅうのはなし」一OPAMに恐竜がやってきた!一

▶ 現代アートの宝箱OPAM利岡コレクション

▶ 黄金とミイラが伝える 古代アンデス文明展

2019(令和元)年度

▶ 竹工芸名品展 ニューヨークのアビー・コレクション 一メトロポリタン美術館所蔵

▶ ムーミン展 THE ART AND THE STORY

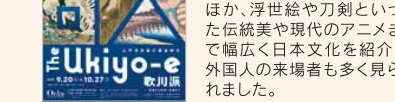
ラグビーワールドカップ関連事業

▶ 名探偵コナン科学捜査展

~真実への推理(アプダクション)~

▶ 江戸浮世絵の黄金時代 The Ukiyo-e

歌川派 一豊春から国芳、広重まで



▶ 日本の美意識 一刃剣と金工一

▶ 大分×ウェールズ友好交流

The Art of Wales展

▶ 岡本太郎展

▶ ヨーロッパの宝宝箱

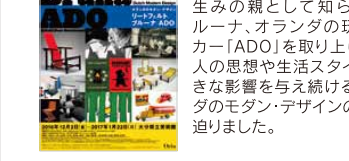
リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展

▶ 片岡辰市コレクションの精華

一竹田と松園、日本美術の雅び一

▶ オランダのモダン・デザイン

リートフェルト/ブルーナ/ADO 遊ぶデザイン&暮らしのアート



・来館者100万人達成(H29.1.26)

▶ 東西風景版画の出会い

ターナーから浮世絵、近代版画までの珠玉

2017(平成29)年度

▶ 何必館コレクション 北大路魯山人展 一和の美を問う一

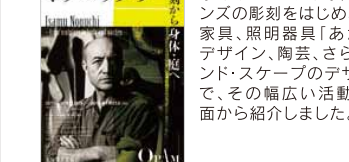
▶ 素描の魅力 一作家のアトリエから一

▶ ジブリの大博覧会 ~ナウシカからマリーまで~



▶ 20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ

一彫刻から身体・庭へ一



▶ 歌心と絵ごころの交わり

二豊路 漂泊の画人 佐藤 溪と 俳人 種田山頭火

2018(平成30)年度

▶ 改組 新 第4回 日展 大分展

▶ アート&デザインの大茶会 マルセル・ワンダース、須藤玲子、ミヤケマイ

▶ 人間・高山辰雄展 森羅万象への道

「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」特別企画

▶ 日本モダンの精華 京都国立近代美術館コレクション

▶ おおいだ美術散歩 OPAM&豊の国

▶ 「海と宙の未来」展

▶ MEGASTAR (スーパープラネタリウム)